

pay the price

～代償を払う、つけが回る～

ビジネスパーソンならではの雑談テーマはいろいろとありますが、なかでも飛行機の移動に関する話題は、必ずといっていいほど盛り上がります。機内サービスの良しあしから空港の使いやすさに至るまで、自身の経験からくる持論がドンドン飛び出します。リアルなのは、事故 (accident) には至っていないが、怖い思いをした体験談です。気にしていたら乗られない！と普段豪語している人でも、予約を取る前に航空会社の安全性や機種をチェックするといった話を聞きます。リスク軽減はビジネスの基本ですね。

The aircraft manufacturer **paid the price** for the recent series of accidents.

航空機の製造会社は、最近起こった一連の事故の代償を払うことになりました。

pay the price for ～は、「～の分の値段を払う」ですからイメージしやすいですね。自分のしたことに対して、不快な経験や悪い結果に直面することを指します。

「事故」は accident ですが、事故に至らないものは incident (事件) といって区別します。いわゆる「ヒヤリ・ハット」は near miss, close call, near hit などとといいます。

One day we'll have to **pay the price** for leaving the problem alone.

その問題を放置すると、いつか私たちにツケが回ってきますよ。

放置すると問題が大きくなるという警告です。pay the price は、金銭面での損害に限らず、イメージダウンする、業績に響く、責任を取る、といったネガティブなインパクトを指します。

映画やドラマで Leave me alone. (1人にさせてよ) というセリフをよく聞きます。Leave～alone (～を放置する) は人だけでなく物事にも使われます。

If you work too hard in your 20s or 30s, you'll **pay the penalty** when you're older.

20代や30代のときに働きすぎると、年を取ってからつけが回ってきますよ。

pay the penalty は pay the price と同義のフレーズ。直訳すると「罰金 (penalty) を払う」となりますが、罰金とは関係なく、後で自分に跳ね返ってくるよ、という忠告です。

単語・熟語チェック

series of 一連の

leave～alone ～を放置する

manufacturer 製造会社

in one's 20s (twenties) 20代の